

心臓がドキドキする不整脈。 怖い病気が潜んでいる場合も あるので気をつけましょう

あの名横綱の命を奪った不整脈。

心拍が連続して、めまいやショック状態を引き起こします。

♥ 心臓病、または電気回路の異常。
原因はふたつあります。

胸がドキドキする、チクチク痛い感じがする——そんな異常があったら、不整脈かもしれません。また、胸がグーッとつまる感じで、水を飲んだら治まるというのも不整脈の症状です。

不整脈の原因は、大別してふたつあります。①心臓自体に異常がある。②心臓そのものではなく、中の電気回路に異常がある。

心臓は筋肉でできています。その筋肉に微量な電気が流れて、心臓は動きます。脈とは、心臓から押し出される血液の拍動が血管を伝って感じられるもの。心臓の動きに異常があると脈は乱れます。つまり、不整脈とは心臓に流れる電気がうまく伝わっていない状態のことです。

①の場合は、筋肉の一部が壊死する心筋梗塞や、心臓の血液が少なくなる狭心症などに罹患していると、心臓の筋肉にダメージを与え、その部分を通っている電気回路に異常が起こります。

②は、心臓に異常がないのに、電気回路に生まれつき異常があったり、障害が



あったりすると、不整脈が起こります。

不整脈の症状は、大きく分けると

①期外収縮②徐脈③頻脈ひんみやくの3つです。①は、本来電気が出てくる場所以外から電気が生じて起こり、脈が飛びまかたり、途中で止まったりして、脈が遅くなります。③は電気が異常に早くつくられたり、電気の空回りが起こって、脈が早くなります。

まず、検査を行って、不整脈の症状と原因を調べてもらいましょう。ホルター心電図、運動負荷心電図、心臓超音波などの検査を行います。

その結果から、心臓自体の治療、あるいは電気回路の治療を行うこととなります。電気回路の治療は、めざましく進歩して、現在ではほとんどが治せるようになりました。徐脈の場合は、ペースメーカーを体内に取り付けます。また、頻脈の場合はカテーテルから高周波を流して、原因となっている部分を焼いて治すことが可能です。

最近では、加齢とともに心房細動を起こす人が非常に増えていきます。電気が空回りして、脈が早くなりバラバラと打つ症状です。心房細動が続くと、心房のなかに血栓がで

きやすくなり、それが脳に飛ぶと脳梗塞を起こす危険性があります。

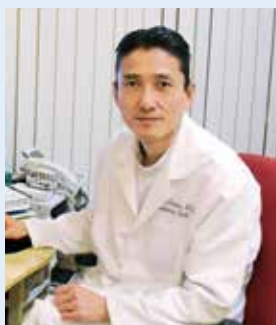
また、急に意識を失う場合は、一時的に心臓が止まっているか、極端な頻脈が起こっているのかもしれない。その症状が運転時や駅のホームなどで起こるとたいへん危険なので、早期に検査した方がいいでしょう。

怖い不整脈と、怖くない不整脈。病院で検査を行い、自分はこのタイプなのかを知って、適切な対処をすることがたいせつです。

Profile

1993年神戸大学医学部卒業。2000年神戸大学大学院医学研究科修了。米国スタンフォード大学循環器内科研究員。2001年国立循環器病センター臨床スタッフ医師。2003年スタンフォード大学に招聘され循環器内科アカデミックスタッフ、ディレクター・フェカルティ。2009年より現職。循環器専門医、米国心臓病学会特別正会員。専門は心臓画像診断、とくに心臓MRI、分子イメージングの基礎および臨床研究。日本の医療現場での経験に加え、米国の医療現場での先進的な経験から、循環器診療に役立つトランスレーショナルな心臓画像診断を追求している。

<http://www.cviclinic.com/>



心臓画像クリニック 飯田橋
寺島 正浩 院長